

關西大學 學生新聞

發行所：關西大學 大阪市東區東區
 編輯部：關西大學 大阪市東區東區
 印刷部：關西大學 大阪市東區東區
 電話：四五〇九

日米通商條約の廢棄

佐伯三郎

日米通商條約は、この一月二十日、以て、アメリカの一方的意志によつて廢棄せられたることとなつた。これによつて、我國の經濟上受ける有形的損害は大である。故に、これを以て我國の外交的責任を擔せられるのである。しかし吾人の我國に對して行つた過去の經驗より考ふる時、我國の外交的責任のみ、その原因を歸すことの出來ないものである。

第一に、我が國が担負するのは、幕末に於ける最初の日米通商條約の締結である。この我國に不利な片務的條約は、米使ハリーの過激な強硬外交による結果であつた。その後、各國との間に相次いで締結された條約は、實にこの日米間の片務的の不平等通商條約を模範とするものであつた。イギリスの巧妙なる外交的術策によつて、我國の各國に對する通商條約は、一層不平等不利益となつたものである。その條約の模範は、幕末四年ハリスとの間に締結された條約であつたが故に、我國の不平等條約は、アメリカに依つて最初に與へられたものと云つても過言ではないであらう。

第四には、軍備制限問題がある。軍備制限のことは、批判の餘地がない程明白に必要なることである。しかし、ワシントン會議によつて決定された海軍備比率は、いかなる根據を以て、五五三となされたのであるか。イギリスをも入れて、アメリカの對日政策の一表現ではなかつたか。更に第五には、九ヶ國條約の締結である。アメリカがモンロー主義を高唱し、アメリカ大陸に他國の干渉を許さずと主張したアメリカ合衆國が、何故に東洋モンロー主義を介し、日本が東洋の覇權を果す重要な役割に對する加へたか。日本あるがために、辛うじて支那の分割が防止され、日本あるがためにアジアの覺醒が意識的無意識的に行はなかつたか。あるではないか。民族自決主義を政治の最高指導主義とするアメリカは、日本によるアジア民族の解放を妨げるのは、その政治的理想と一致しないではないか。

以上の歴史的諸事實を基礎として考ふる時、今回我國に對する通商條約の一方的廢棄は、今日事新し、我國の外交的變化ではない。従つて、又我國の外交的責任の結果でもない。アメリカの對日的根幹政策が、支那事變を契機として表面化したに過ぎない。

これによつて擔負しなければならぬのは、アメリカを買被らなざることである。一部の者の間には幕末の閉鎖を以て、アメリカの恩恵となし、日露戦争の平和條約締結を以て恩恵となす考へ方である。又、アメリカの外交的セステニアに迷はされ、或は人道の國として平和の維持者とする考へ方である。それは、軍に表面のことである。その背後には、前述した幕末の不平等の重なる一課題と考へないであらうか。

機械と人間性

瀨川しらす

日本の場合よりも一層發達した工場制度を產生するだけの社會状態が存在してゐたものと云ふ。けれども、經濟史的に云ふならば、この歐洲で、急激な社會變遷は、つゞき、手工業時代と云つても、主に家内工業から、工場制度へのはつきりした區別は、指すことは困難を要するものである。十九世紀に急激に發達した所の生産状態、つまり工場制度に付いて、日本の場合は今一度論外にして、英國等の場合を觀察するならば、急激な發達は、云々、その當時の社會状態は、此處に言ふ機械文明が明治維新から醸められた形になつてしまつたのは、やむをえない事情とは云へ、此の點から、經營の機構を再認識して、再機械の必要を感ずるのである。

土は、アメリカ本土人に附與され、そのものを奪つたものではないか。我々は、かゝる事實からアメリカを眞に愛するがために理解して置かねばならぬ。皮肉な實情か、皮相な表面的觀察は一切、我々の理念から抽き出さねばならぬ。日米通商條約の一方的廢棄と云ふ事象に直視して、我々は、このことを確實に把握して處理しなければならぬ。

一、二、三、四、五、六

三、**大陸政策の將來**

松田智昌

こゝに大陸經營と言ふのは、移民の方面より眺めたものを取扱つて見ることにする。所謂東亞の諸國團體を形成せんとするには、總べての點で進んでゐる日本が、指導にあらねばならぬのである。それが爲には日本人は、どしどし大陸に進んで行かねばならぬ。その場合に、日本人の眞の理解者を東亞に作りねばならぬのである。けれども、此の廣い東亞に於ては、朝のことではなく、少なぐとも、若し日本が現在行ひつゝある所の大陸經營手段に力を入れ過ぎたならば、元目とする經營方面の關係からして、返つて、此の經營に邪魔をする事になる。此の經營の鍵は、人であつて、人の移住があつて始めて、大陸經營が基礎付けられるのである。而かも、大陸に日本人の移住を進むに、つれて、移民問題は、次の如くなる。

第一に日本民族と、大陸民族との完全なる結合の場合。第二に日本人が彼等に對し優越感を抱く場合。第三に日本人が大陸民族から卑下される場合。第四に以上の三つの場合が起きて、最後に大陸民族の反作用が生ずる場合が考へられる。

第一の場合、日本の最も望む所であつて、又百年の大計に何か支障を起しはしないか、即ち日本に建設的又貴い血を思ふならば、十分考慮すべきである。

第二の場合、日本に於ける明治維新より以上は、日本に於ける明治維新より以上の苦境にあるのであつて、此れを背負つて立つた土は如何なる考へを有してゐるだらうか、例へば王精衛の根本方針に既に第一に日本兵の大陸よりの進出とあるのを見ても明らかである。あつて、あれほどの愛國者が今は涙を流して日本に居ると云ふことを一日も我々は忘れてはならないのである。如何に植民政策をしたらよいか、如何にしたならば英國の二のまじを演ぜずにか、甚だ感傷を要するものである。

中商工業の組合運動

著者：天宮健一 著 定價：四六圓

著者天宮より日支事變を契機とした戰時經濟の招來以後吾々は幾多の新しい經濟問題に遭遇して居る。組合制度もその一つであるが、實に組合制度は日わが國民經濟機構の樞軸ならしめられてゐるのである。蓋し組合制度は一つでなく、多數に上つて居る。しかも現行多數の組合制度は戰時經濟機構として新たに創設されたのでなく、殆ど大半が既存し、今日重用乃至轉用されたのである。それだけに、それぞれが持つ過去及び傳統を知らねばならぬ。

關西大學研究論集

天宮健一 著 定價：一圓 送料十錢

天宮健一博士の遺稿(吉田教授)國家的方法論的理論(岩谷教授)九國條約の適用(川上教授)國內法に於ける公序(柳田教授)フランス法における生存配給者の相續權(木村教授)合資會社の責任社員の特長に就て(野村教授)成立中の株式會社(國助教授)

地方稅制の考察(神戶長)利子と債務的原因(藤川教授)國民所得の統制(正井教授)明治初年に於ける取引所制度概観(佐伯教授)布哇に於ける本邦移民について(村田教授)舊都府市商店街の構成と動向(加藤教授)フルノ、ヒルチプラント(赤羽教授)

九、**第**

天宮健一博士の遺稿(吉田教授)國家的方法論的理論(岩谷教授)九國條約の適用(川上教授)國內法に於ける公序(柳田教授)フランス法における生存配給者の相續權(木村教授)合資會社の責任社員の特長に就て(野村教授)成立中の株式會社(國助教授)

地方稅制の考察(神戶長)利子と債務的原因(藤川教授)國民所得の統制(正井教授)明治初年に於ける取引所制度概観(佐伯教授)布哇に於ける本邦移民について(村田教授)舊都府市商店街の構成と動向(加藤教授)フルノ、ヒルチプラント(赤羽教授)

號

大學哲學文 行の教育(三枝教授)キルケゴールの總論概念(大小島教授)春秋時代に於ける國文(一)(岡本講師)藤原と藤原(上)(安山助教授)英文學の哲學的構造(片岡教授)L. N. Tolstoy 著(内田教授)H. T. T. の指本的性質(八島教授)方法論(河村教授)

大阪市東區川邊長柄中道一〇
 振替：大阪六二五二〇
 東京市神田區錦町一〇一
 振替：東京七三八一三番

甲文堂

部説

驚かす二千六百年に於ける新開部の事業を...

社會の總べてに於て、現在は或る意味に於ける過渡期的な現象を示してゐると同時に、我等學校も此の時期にあつて、我々としては否寧ろ過渡期的な現象を飛び越して、新しい時代に即應した、革新の成されんことを希ふ者であります。従つて、學生諸君は此の重大なる事及び時期を察知せられて我等の指針に歩調を合せ所謂責任感の氣風を發揚せられるならば二千六百年の歴史的使命として決して辱ぢかしくない業跡を残し得ると思ひます。幸ひにして昭和十五年年度學友會は荒木委員長以下大いに張りきつてゐるので、我等と共に助け合ひ、時には異議の關に相成らうとも決して大局を渡願した政策を取らず、何處までも大きな道を進んで見やうと思ふ。

斯くは論する者の此の論を唯机上の空論にするか、或ひは又此の論をして光彩陸離たるものにするかは一重に諸君學生にあるのであつて、他の誰でもないのだから、學生の學校であつて、特に關西大學の如き私大に於ては大學が學生自身のものであり、學生自身が經營してゐるのである。關西大學が對社會的に善くするの義務とするの學生であつて他に誰もないと言ふことを眞に自覺し且又關西大學の學生たる自覺を抱いて奮ひたいものである。學生諸君よ心の底で他の者共にひげを感じてなるものか、今年からこそは關西大學の學生であると言ふ自覺より正しい大きな自覺を持て。自覺！其れは口先の事であつた、それは現在までの行動ではつきりと理解出来る。所謂自覺と言ふ眞の自覺は學生であつた、今年こそは眞の入つた、張り切つた學生になつて呉れ、街に謂ふ英雄にな

よつて、略々自給自足してゐたが本來豊かな土地ではない爲昭和十二年十一月、皇軍入城直後は、太原市中の日用品缺乏な相當甚しく、人心惶無の大喧嘩となる危険があつた。そこで軍部無謀で、僅か三千圓の資金を以て、柳巷街に公共市場を創設、日用品必需品に糧粉・蔬菜の供給を開始した所、需要者は自ら買物に出る土地柄として、非常な好成绩を収めた。その後海子邊第一實業小學校、更には市の中心たる橋頭街の現位置へ移ると共に、漸次規模を擴大し、昨十四年四月には、改組されて新民會所屬山西省物資供給總署並に附近公共市場となつた。

同大と原太

北支 蒙疆 紀行中より 菊田 太郎

昭和十四年八月十六日午前八時卅分、石家莊北站(正太站)を發して、太原に向ふ。娘子關附近一條の瀑布涼氣を瀉せしめ、幽邃の越なし。河川の風流を防がんための石堤、民度高きを窺ふに足る石造家屋等、平原部と異なる自然、行届ける政治の眼のあたりを示す。薄暮太原着。十七日、早朝より各機關に交通復舊状態を承知するに、不明の點頗る多く、兩三日滯留せざるべからざるものゝ如し、この間市中を巡視することに決す。

大同田・雲崗石佛の眞價を説き運命如何と思ふとき、感慨なきを得ず。...

大同市、道運むたるを拍はず。太原市中、道運むたるを拍はず。...

大同在留邦人数 十四年八月一日現在...

蘭蘭

追憶は限りない。蘭蘭の「春」に現れる若い詩人の群は勿論、遺棄の「當世書生氣質」二葉亭の「浮雲」...

サルトビナスは少年の頃の夢であるが、恐ろしい希求は常に新らしい。廿世紀物質文化の形體的豐富さは學生を眩惑し、了さんとする時、學生の胸の中に燃つた、忍術があつてドロンと魔不可思議をおこすなら良いのだが一時のがれの自己偏頗。その日その日の浮草綠葉ならサカサカの方が華美で面白くそして眞實に對しては眞摯である。俺もお前も枯れず、さきに散らす事は今の學生に至難である。この事は言葉が違ふがワツサマンも云つて居た。

世界運命は楽しい事に違ひない。その上高が二にもコロンブスの如く新天地を發見したら、發見しなくともガリバの冒險は血肉を離らすだらう。また案外地球が丸くないと云ふ事でも發見してくれただけだ。出来たら火屋へも飛んで行くことだ。オトバガボンドは嬉しい。三等水夫は甲板洗ひをさせられるが、陸で長い廊下を拭くよりは良い。世界運命が出来るだけ嬉しい。板子一枚下は地獄と云ふけれど地獄は板子の下ばかりである。長い廊下で長い廊下を拭いて居て地獄でやられたらどうするんだい。極楽へ行くと云はせないぞ。

河合のオツサンへ 親切で... 安價な... 店服洋合河

皆様の健康はハママラから 親切・安價

豫決算定

新委員會の弱點曝露

十五年頭初から失敗前途を憂慮さる

十有餘年の歴史と自治の精神に輝く我等が學友會は、十四年度亦木委員會の後を受け信賴され、熱望と期待の内に目出度く登壇した物の未だに進行を離脱し得ない運行、一四・一一・二六事件學團に取

Table with 2 columns: Department Name (e.g., 演習部, 研究部, 音楽部) and Budget Amount (e.g., 1100, 350, 400).

對し如何ほどの處分を成したか我等は裁判所の様に委員會なる我等の機關を思ひたない、だが其の無力さを論ずる者だ荒木委員會の無力、弱點は其の委員會の構成分子に有るか、委員長自身に有るか、前例事業の遂行者たる者が良き委員會であれば、其の下に有つて活動して行く各部の事件に對し何事の處分も成すことの出來ない

豫會の活動の状態を見るに十圓の昇降は當然だらうが、此の部も昇降の豫會成る物で無く全學生全體を會員とする豫會成る様態

皇紀二千六百年、この輝き新春を迎へて、吾等の想ひは皇國の昔に遡り、皇統建絶として繁榮を行く帝國の臣民たることの幸福を

かくしてこの感激と自覚の中に我が學友會も新しい希望と熱意を以つて、總規程、總協力の基に大刷新を計らんとしてゐるのである

は活動、進歩、發展する部に對し十分の活動を願ふ。不可侵なのは委員會費の千三百二十圓の金の行くへだ、此の問題は我々の理解する事の出來ない未だの世界の金だ

高等商業科出願 一部商業學科を

吾々が長年親しむた一部商業學科が學生の頭上から消え去らうとする。學校が時代の影響を直ちに受け込まれようとする傾向は

結を計るべきである。其處には幾多の困難があり破綻があるだらうしかし、あくまで溢る熱意と不斷の努力を以つてすれば、如何なる難題たりとも解決のつかないものはない。吾等、困難があり破綻ある毎に一步一歩團結への前進を示さなければならぬものである

人事移動

▲西村信雄教授 一月九日付をもつて本學教授を退き、臺北帝大助教となる。 ▲木村健助教授 西村信雄教授の後を襲つて學部學生主事となる。 ▲三木純吉氏 學部新入課(昭和九年法卒)

新卒業生の就職

新らしく商業英語を學びたる。 ▲三友友吉氏 ドイツ語擔任 ▲瀨川氏 病氣休職中の處全快、再び學生に經濟科で法科は少數の様だ

新委員長として

荒木啓二

已の立場をよく認識し、その目的手段を誤ることなく、眞に奮闘する。此の如く個人に又團體に内部充實即團結を要する來つたのである

本・奈良・伊藤萬・北澤・丸山・野野等の大商店。及び大鐵、そのう・高島屋・大丸・山城屋各デパート、これに中等教育等である主に經濟科で法科は少數の様だ

部落經濟考察

松田智昌

下時

部落に於いて此の論文を物せんとするに於て、讀者に正確なる理解を得せしめんが爲に先づ此の部落の存在状態を述べて置きたいと思ふ。

部落は山を一つ隔たれて大きな軍需工場をひかへて居り、盆地の傾斜面にあるものである。所謂「勿論部落」の交通機關は存在せず、道路もあまり發達したとは言へない状態。そして次の如き数字を掲げて理論上會得を便ならしめんとす。

- 全人口 二六八
- 一月平均人口 四・八七二
- 軍需工場 一七
- 同業者 一七
- 軍需工場通業者 四八(M)七(F)
- 部落外より通業者 五
- 女出稼入 一三
- 自作農 六
- 自作小作農 大部分
- 小作農 大部分
- その他の職業 三
- 男子數 一四一
- 女子數 一二七

此の項目の分類に於いて註釋をして置く。第四項目の軍需工場通業者と云ふのは、主として輸送役の人を擧げたものである。次に第六項目の部落外より通業者は、軍需工場と云ふのは當部落に生活本據を置いてゐても、部落に生活せず下宿生活をなしてゐる者及び一時に當部落を出でゐる者、ではあるけれども之の區別は明瞭なる言語に表現し難い所がある。此の總論は著者に一任をこざるべきである。次に第七項目の女出稼人と云ふのは第六項目と其の出稼目的が軍需工場否かに依つて差異を付けたものである。即ち女出稼人の主たる職業は市中工場、銀行、會社、郵便局等であり、市中工場と云ふのは其の工場が軍需品製造業に従事するものと問はないのである。何故ならば此の数が極めて小數であつて、全體の意見構成に何等影響はないと思ふ故

が一番手近であると思ふ故戦時中の爲移出した労働力を計つて見よう又書き落したけれど此處に取扱ふ所の労働力は當部落の労働力即ち當部落で消費する所の労働力である。それは、軍需工場が十三名軍需工場、女稼入その他を合せて八十六名であつて、これを全人口に比すれば三十二パーセントではありますけれども此の内大部分は軍需工場であつて、これが大部分は平時と大して變らないものである。けれども此は全人口に對しての割合であつて労働可能者に對しては相當なるパーセントを示すものであります。即ち労働可能者は九十三名でありまして移出労働者は七名を減じれば六十六名でありまして故七拾七パーセントを示すことになりまして、つまり七拾七パーセントの労働力が移出してゐる理由でありまして労働可能者の数が平時労働力の完全を有しないからである。又商店の方面は後に述べる「國家行政の波及力」の所で詳しく述べることにす。

以上を以つて此の部落の存在状態を終つて本論である労働力の問題に入らんとす。

労働力

先づ労働力を次の様に説明して見たらと思ふ。

A、(一)平時の労働力の必要量と(二)現在の労働力の必要量と(三)現在の労働力の必要量と(四)人の移動及其の傾向(五)軍需工場の影響(六)精神的影響

以上多少重複する恐れはあるけれども可成詳しく書かんとす。

平時の労働力の必要量に對しては勿論これは統制經濟以前に存在してゐた、所謂自然的必要量ではなくして、物動法の影響を受けた時の經濟的完全状態を保つための量であつて、換言すれば平時に於て完全なる經濟状態を保つための充分であつて、餘剰の無い量を言ふのであります。此は極道に入つたけれども要するに平時の

労働力必要量は労働力可能者の九十一パーセントだと思ふ。従つて平時の労働力必要量は知れるものであります。即ち平時經濟に九パーセントの剩餘があつたのであつて勿論此の剩餘労働力は労働力の價格決定に重大なる役割を演ずるものであり、資本主義經濟を進行させしめる剩餘労働力であり、而かも亦應急的労働力でもあつたのである。乃ち資本主義の擴張に伴ふ一時的労働力不足を埋めるに或は又資本主義企業縮小に伴ふ犠牲でもあつたのである。要するに此の剩餘労働力は絶対必要なるものと私は思ひます。つまり九パーセントの剩餘労働力は平時經濟構成の安全網とも言ふものでありまして、眞の意味に於ける剩餘でないものであります。此の點から現時労働力の不足は肯定し得るものであります。勿論物質と性質を異に致しまして、一時若しくは急激的に労働力の量的變化を來し得ないことは言ふに及ばず、又夫れ故に平時經濟下に於て特別の經濟状態の出現しない間は爲政者の連観あれば労働力の社會政策的問題は起らないものであります。

次に現在の労働力の必要量と剩餘量であるが、これは前の平時の場台と相對的關係にありまして、程に説明せんとする、精神的影響ともあつた外部的な労働力は、不足してゐると私は思ひます。そして平時に於ける労働力の必要量は此れから先統制經濟が除去されても、その細をゆるめる時に必要と思ひます。故に平時の必要量を考察したいと思ひます。以前も述べました様に當部落は、場所的に見て、軍需工場へ行く者はあまり數に於て變動はないのでありまして、やはり軍需工場が其の内において、二十パーセントを占めてゐる最優力でありまして、戦時中の影響を如何に示すものである。次に他の種類の移出労働は資本主義經濟にありても戦時經濟にありても云へるのであるが労働力の集積的現象だと思ふ。更に此れを換言するならば、人口の都會集中を物語るものでありませう。此は極道に入つたけれども要するに平時の

言致します。而して一方此の事を大層より際限せず、此の事はやむを得ない事情と申せざるを得ない。此處に分割經濟と云ふのであります。此處に分割經濟と云ふのは、家庭が現金金融經濟にありて農業所得に依つてゐる、所謂資本主義經濟に於て言ふ所の労働力の直接販賣代價に依るものであります。換言するならば工場銀行會社で労働し、勿論此の労働は廣い意味の労働でありまして、其代價即ち労働力の販賣に依る所得に現金金融經濟を託してゐる状態でありまして、唯農業方面の労働力は殆んど自給自足經濟状態の片鱗たるに外ならぬものであります。現金金融經濟とは此の部落に存在する所の他の一つの……と申しました。短的に言へば物々交換的經濟

斯くして戦時労働力の必要量は當部落にありては移出労働力と相對的關係にあると言へるものであります。即ち移出労働力が減少すれば農業労働力の必要量は減少するものであります。必要量が減少すると申しますと、ちよつと變な様で申しますと、これは一經濟體の上から見まして、つまり廣い意味の所得上から眺めまして所得が金で入らうと物で入らうと何れ變らないものであります。故に局部的に必要量が減少するものであります。次に剩餘量の問題ですが、これは平時下の其れと全意味を異にしたものを對象としてあります。それは剩餘と云ふ言葉を使用し難いので、何故ならば戦時下に剩餘の言葉の本來の意味に於ける状態があり得ないからであります。そして此の場合の剩餘労働力は、犧牲労働力若しくは過勞労働力と名付けたものである。それは農業労働力から見れば戦時下の一時的被虐者と小部分ではあるけれども、一時的でない被虐者の農業労働力に對する過勞労働力を示すものであります。其の内犧牲労働力は此等労働力移出に依る代價で充分補はれてゐると思つてゐるのであります。否、逆に補はれてゐる處か、貨物價値は別問題として、同じ労働力を農業労働力にするのと、労働力の移出即ち被虐人の立場に及ぼすこととを比較して、更に重大なることを必ず到來する所の農業労働力の二役を買ふことと大であり不氣を惹起せしめ、戦時下に於ける其の量が大きくなるほど、即ち直入的に言へば戦時經濟の對象が大なる程、後程来る所の平時經濟に大きなショックを與へるものであつて、其のショックが時には其の經濟状態を危機に陥れるかも知れないのであります。同時に大きな社會問題が生じます。そして又此の犧牲労働力が大きければ爲政者が戦時經濟から徐々に移すにせざるを得ない。此れを平時經濟に移さんとすとも、此れをぶちこはす偉大なる力を有するものと成るでせう。

次に第三の人の移動及其の傾向に付いて。

人と申しましても労働力を物語らんとするものであります。故に、労働力の移動のことでありまして、此れは以前に述べた様に集積的傾向を表はしてゐます。即ち都市集中の形を採つてゐます。けれど此れと最早飽和状態にありまして現在では返つて其の反動として多少遊浪りの現象さへ窺はれるのであります。

此れが最も労働力を支配してゐるものであつて、此れが率は労働可能者数の五十二パーセントを占めてゐます。又これまで「指針」と云つてよかつた女子労働者(廣い意味の)が表はれたことでありまして、

思はれません。而して其れも生の爲の手段であるならば致し方ないものであります。否々此れから寧ろその數を増すのではないかとさへ思へます。故に當然彼女達を家庭的愛護氣から隔さない様にすただけの社會的設備が必要でありませう。

又此の社會的設備を法的に國家は援助しなくてはならないと思ひます。此の點が政府の現在までやつて来た、つぎは法的な政策は頭尾を顛倒したものであつて、甚だ遺憾であります。

原始林

各部門を通じての原稿を募集します。

△十五字詰行四、五枚程度

△毎月十五日部員までお渡し下さい。

△取扱はお任せ下さい。

俳句部

農村子弟が手傳ふ家事が如何なるものであるか、將又農村家庭が如何なる生活をしてゐるか爲政者が一度農村家庭に入つたならば、働勞者とか、物産節約とか眞しやかな言葉で善良なる農民をいためる様なことは無いと思ふ。ともあれ此の不足な農村労働力は如何にするか、又如何にスムーズに労働力を融通するかに今後の問題が殘されてゐるものと思ふ。醫學的にも都會青年より田舎青年の方が或る點に於いて體位が劣ると言ふことが立證されてゐますが此は甚だ遺憾過ぎる程然らざらば、科學的に進歩した今日自然的環境を以つて一途に農村の地位を物語らんとする物は目もあきまはつて、都市經濟の(文化的にも)つまり資本主義經濟發達の犠牲である彼等を白服することなく憐れむの情切々と胸にたぎるを禁じ得ないものであります。故に若し働勞者仕なる型で今後農村労働力の不足を補ふとするならば働勞者仕の組織を變更して事に於けるべきである。實行して見ても、而る後に其の長短を云々するのでは現在の採用すべき方法ではないのであります。此の點が爲政者は確固たる信念を立て、進んで貰ひたいものである。例へば働勞者仕に付いて、所謂觀念のない所謂官僚政治は一日も早く撤去することを望む、それは現在までの様な働勞者仕なら、都會の人が付いた都會を擁護する位で、よいものをなまじつが官僚風が農村にふいたものだから返つて反對の現象を表はす様になつたのである。勿論中には爲政者の方針から離れて、私の言はんとする働勞者仕のタイプを作つてゐるものも認められる。要するに軍需労働力使用から農村労働力の不足の對策として、は此れ程農村労働力を妨害するものは無いでせう。農村子弟に働勞者仕を再考し又其の方法を説く見するより外に無いでせう。其の點最も有効なのは労働力の融通性を増進することでありと思ふ。

◆店の生學◆

★音楽と★

★紅茶の★

屋戸神

サービス

力堂

電話七川五六六番

店の生學

關西風俗を語る

江馬 務

新聞部から私に關西の風俗について何か書いてくれとの御注文である。締切が今日、明日と迫つたまで急遽してゐたため、拙稿を執筆する暇もないのでほんの隨筆で御免を蒙る。

關西といふと遠阪の關所から西といふことで、近畿、中國、九州も入ることになる。さうすると美濃近江などは關東に入る事になるのである。私はいつも東海道を車中で往復するが、美濃などの賣聲のアケントなども、美濃から東京線になる。私は風俗の上から見て、美濃が關東關西の境界のやうに思へて仕方がない。しかしこゝでは、ほんやりと關西を京阪を中心とした地方、關東を東京を中心とした地方と見て話して行かう。

近世風俗史から見て、東京と京阪(上方)とは並立した風俗の二大系統をなしてゐるやうに思はれる。第一民族が大分違ふやうである。關東はアイヌ人や蝦夷の血が多からうし、上方は支那、朝鮮人の血が多からう。これが文化の影響を蒙つても、上方は久しく古代の政治文化の中心であり、又韓唐文

風である。これらは家庭で子供の時から訓練せられ、別して女は女のたしなみを教へられる。京の女は濃艶で白粉も濃く、時には白粉の相場も變る位塗らたてるが、江戸は薄化粧或は白粉を塗つて又濡手拭で拭き取り、素顔の美を見せんとする所に兩地の相違がみとめられる。京阪は衣服に凝る。おめかしが多い。京の着倒れ大阪の食ひ倒れといふ諺があるが、上方は形式に重きをおく。略次の隅から飛んだ豪華版の女が飛び出すことは珍しくない。東京は萬事が淡白です。つまりしてゐる。されば昔は化粧も衣服の流行も上方から輸出したものであつた。

今一關西で発見するのは、古典的の味である。家の形式、構造、意味、年中行事、娯樂何でも傳統の古典的色彩が濃く残つてゐる。かゝりして關西風俗のよさを知るには、大分に準備的知識を要求されるのである。

現代の學生が氣概がないと云ふことは學生を全體的に見て肯ける然し、と云つて過去の學生が全部氣概のあつた者ばかりだらうか。そう云ふことは到底肯げないものであり又事實でもあるまい。吾々が現在氣概がないと云はれて肯けるものを感じるのには、吾々が現在の學生層そのものの中に生活し、共に生きてゐるから、學生それぞれ自身を持つてゐるものがよく判るからである。吾々が持つてゐるものから判出す場合良質のものよりも學生の持つてゐる悪い反面の方がより多く映るのは當然のことである。それが氣概がない、とか墮落したとか云ふ言葉で云はれるとすれば大きな間違ひであらうと思ふ。現代の學生が持つてゐる、悪いと思はれる面に於ても、學生時代に於て是非一度は経験する一つの過渡期的な現象の方が多いうる場合がある。その云はれる氣概とか、氣質と云ふものが、過去の學生の多くが行つた大言壯語を指すなら又又問題はポイントをはずれてゐると思ふ。そして今の中年の人達による言葉から推してみると、當時の學生全體に、現在の學生のものとは違つた大きな氣概と云ふやうなものがあつたといふ。然し現在吾々の目から見た過去の學生と云ふものは、凡そ出處不詳で、大言壯語を學生の本分と心得てゐたやうな氣概の多いのを知る。又さうでないとしても、所謂時代の流れと云ふものにあまり感傷でなかつた大衆層の中に、嚴然と象牙の塔に立籠つてゐた當時の學生は、第三者の眼から見た場合、如何にも關氣があり、理想にも立つた若人らしいものであつたかも知れない。然し現代の如くに、あらゆる文化機關を通じて、大衆は知的に向上し、學生と云ふ特權階級の存在を全く無視してしまふ程の發展をとげたのである。現在の大衆が文化機關を通じて取得する知識は吾々學生の無想だにもなかつた點から延びて來る場合が多く、學生と云ふ概念も、昔時のやうな高理想化されたものとは違つた、普遍的なものとなつてしまつたのである。この社會性、大衆性の中にあつて吾々が如何に努力して向かうとも、全く無敵なことではなない。吾々が一般社會を持つてゐる學生と云ふ概念と關つても無敵だと知る時、吾々の取る方法は唯一つ、又再び象牙の塔に歸るべきである。それは吾々全體の洗滌を意味するものでは決してない、一種の諦観である。それだけ過去の學生の持つた精英性を、より深く考へる思考力に置き換へたまでである。吾々の社會に求めてゐるものには決して過去の學生に對したやうな態度では決してない、唯も少し學生と云ふものに懐い眼を持つて眺めてもらひ度ひのである。暖い眼と云つても、決して學生を甘やかすやうな意味のものではなくして、現代の學生がこの混沌とした世の中に、如何に生きんと苦しみつゝあるかと云ふことに對して深い理解を持つてもらひ度ひのである。吾々は學校と云ふ機關を通じて社會に送られるのであつて、一般社會に對する健全な概念を育ませることは學生自身に取つても大きな致命性になるし、又社會としても、そのやうな觀念をもつた學生を送り込まれて來ることはメイワクなことであるに相違ないのである。吾々が學校生活を續けて行き、得ようとするものは、如何に物を見る眼を養ふかと云ふことであり、正しくものを觀察する精神を養ふことにあるのである。學生も又心してこのことを學ぶべきである。

學生生活閑話

木下利一

最近の學生が墮落したとか、唯安閑と其日々々の生活に安住し切つてゐる。とか、過去の學生は天をつく勇氣を持つて若人らしい潔刺とした生きざまを持つてゐたのに引きかへて、現代の學生は何の勇氣も持つてゐないとか云ふことが云はれてゐる。それは、昔

代に認められ得る程の事業でなくてはならぬ。諸君の僅か三年の在學や、否、學友會、クラス會委員だけの所謂、お座なりの一年中行事といふ一年生植物ではイカサカも少しね。必ずしも年限を限定する譯じゃないので、私が學生の「事業」なるものを省慮した時に思ひ合はれる點がこれなのだ。その點で、卒業して行く者は次の三年、二年、一年とタテの連繫を計る事も必要なのだ。

「母校」が常に諸君の生涯につきまといふのだが、此處に「關大」は省慮すべき何者も不用と斷言し得やうや。

紀二千六百年と學生生活

中村良之助

紀元二千六百年……と聞けば、又本學に、青年の一期を托して行く學生諸君は、必ずや心に何者かの出來を期待し、成就を祈念されやうと思ふ。

勿れかしの生活も出來よう。時代が青年に期待する所々、んな皮相的な「節制」否、ケチンボや無氣力では無い。大いに「なす」ある「所、明日の日本の建設である。それも長期建設で、場當りの其場限りの事業こそ、むしろ此際無敵といふべきである。

「家」に於て、徒らに學問道と云ふ事は「校友」と在學生間の關係として、物たりないであらう。大層高慢が残りても訪れて、うけがふ人も無き母校は「一層」「寂寞」なるであらう。私共の「優良」はその人的結合から始まる「終生の思出」は「終生の生命」を共にする所から出づる。かく

それ程に「物」、「出來上り物」「見せ物」でないが然し、人々の「實用」の心を示す事業であり度い。

伎

歌

間時業營 平日自四時 祭日自四時迄十時

歌舞伎座スケート場 電話(70)三五〇七

トケス・スイア

體位向上 健康報國

座

舞

回顧 六車寛

あまたしい戦時下にて、あまたしく過ぎ去つた十四年度を顧みること、何れも、何れも、事柄に就いて、今更ながら、驚くべきことである。

ことに吾々の關係しては、文藝部が中心指導力となつて、文藝部長が最初の日から、文藝部の中心指導力となつて、文藝部長が最初の日から、文藝部の中心指導力となつて...

吾々が求むるものは、前に述べた通りに、より高い文化であり、精神である。その目的達成のため、如何なる手段、如何にそれを適用し、利用し、実行して行くかによつて、各部に於ける方法は自然に別個のものとなるであらう。

吾々は常に追求するより高いものがある。吾々は何も委員会的主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

吾々は常に追求するより高いものがある。吾々は何も委員会の主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

吾々が常に追求するより高いものがある。吾々は何も委員会の主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

關西の學生と

演劇

一般に演劇と云ふ名で呼ばれるものは、その内に於ける新劇を取り上げて、それに関西の學生生活に於ける吾々が、吾々と共に新しいモラルを追求して行くこととする新劇の存在を知り、自ら進んで必要であらうと思ふ。

吾々は何も委員会の主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

吾々は常に追求するより高いものがある。吾々は何も委員会の主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

吾々は常に追求するより高いものがある。吾々は何も委員会の主權の必要はない、然し、云つて全く部長會の存在を無視する必要もない。吾々は、よりよく文藝部長會を利用して、吾々の文藝部といふ構想を、よりよく部長會を利用して...

強いて來る。新しい時代の流れに取り残されて、あへての南都鐵道工場の雄々しくも立ち直つて行く姿を、脚本の不備によつて登場人物の説明不十分と肉付け不足の點で追及し、又せんとした來たからたと思ふ。

建設の明暗である以上、時代の流れに感得して、新しい態度で時代を切りぬく南都鐵道工場の雄々しくも立ち直つて行く姿を、脚本の不備によつて登場人物の説明不十分と肉付け不足の點で追及し、又せんとした來たからたと思ふ。

建設の明暗 雑感 大木伴作

新築地がこうした中村たか子の生業部を描いた荒いものを取り上げて上巻する云々とは、新劇の大衆化が叫ばれてゐる折衝の間に面白くはなからうかと思はれた。然し、この原作に於ける幼稚な、そこにこそがつてゐる文學青年でも書きなすた文學テクニクをもつた作者自身を、何かに先づ知れぬ不安が、この時、何かしら一抹の不安がないで

個人人間になり切つてしまつたやうな友代に対する久作の感情が、夫と別れてしまつたユリ子に向つてある場面であるが、此處にも脚本が遊んでゐる。この場面などもどうして南部鐵道工場の自分達の進み方を切り開いて行つたかと思ふ。それは結局、脚本の構不成不十分な點に責任があると思ふ。

四幕一場、一場を通じて、やゝ久作の人間が全體的に浮上つて來たやうにも感得されたが、これも説明不足と肉付けのたりなさから新劇的なものを感じさせられる。苦惱を描いてゐる。

建設の明暗である以上、時代の流れに感得して、新しい態度で時代を切りぬく南都鐵道工場の雄々しくも立ち直つて行く姿を、脚本の不備によつて登場人物の説明不十分と肉付け不足の點で追及し、又せんとした來たからたと思ふ。

新築地の建設中、日毎に「資本主義」に物々しい役で特別出演と決定。



建設の明暗である以上、時代の流れに感得して、新しい態度で時代を切りぬく南都鐵道工場の雄々しくも立ち直つて行く姿を、脚本の不備によつて登場人物の説明不十分と肉付け不足の點で追及し、又せんとした來たからたと思ふ。

建設の明暗である以上、時代の流れに感得して、新しい態度で時代を切りぬく南都鐵道工場の雄々しくも立ち直つて行く姿を、脚本の不備によつて登場人物の説明不十分と肉付け不足の點で追及し、又せんとした來たからたと思ふ。



創作 校 門 船 曳 永 太 郎

君時代の合唱が終ると、橋のやうに響き渡つて背の高い學長が、リウマチの脚をガクンと音をたてながら、演臺の上にあがった...

いふ感じだつた。學校と云ふ一つの大きな環境を持つて、彼等は氣がつかないで、僻は決して、學校そのものや、印でをしたやうな切...

現代の作家の學生に對する態度は冷淡である。それは學生を主材とし、現代の作家の態度は冷淡である。それは學生を主材とし、現代の作家の態度は冷淡である...

作者としての抱負 「建設の明暗」を 中本たか子と語る 現代の日本文壇は兎角女流作家を優遇しすぎる傾向がある。新らしい腰巻がほしいと云つても一躍流行兒になつた...

原稿募集 あらゆる部門を通じて諸君のよき研究發表機關となりませう 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

原稿募集 (續) 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

原稿募集 (續) 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

原稿募集 (續) 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

どうか。新らしいと云つてもそれは結局観念的なものであつて、それが實質と何處まで新が有効に働きかけるかと云ふことは疑問である。人間は一度スタートした...

彼は何故彼がそんなにまづ學校を出ることを肯げないかと云ふ内面的な理由を考へないで、彼等は何かあんなにまづ學校を出ることに興奮してゐるのだらうと、そのことばかり考へて結局は自分から卒業と云ふ事實に對する感情を露出してゐるのに氣がつかないでゐるのだつた。

現代の作家の學生に對する態度は冷淡である。それは學生を主材とし、現代の作家の態度は冷淡である。それは學生を主材とし、現代の作家の態度は冷淡である...

作者としての抱負 「建設の明暗」を 中本たか子と語る 現代の日本文壇は兎角女流作家を優遇しすぎる傾向がある。新らしい腰巻がほしいと云つても一躍流行兒になつた...

原稿募集 あらゆる部門を通じて諸君のよき研究發表機關となりませう 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

原稿募集 (續) 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

原稿募集 (續) 一、論議 自由 一、編輯 毎月十五日 掲載原稿は薄紙を呈す

